平成14年度綾歌郡情報部会の取り組み

1 研究主題 「新しい教育機器の効果的な活用のあり方」

2 活動内容

今年度は、ソフトウェアの操作方法を中心にコンピュータの有効な活用方法に研修及び研究を進めた。前半では一般的につくられるようになってきたWebページの実習を、後半では高校入試の調査書の様式の変更に対して、マイクロソフト社Accessの基本操作の実技研修をおこなった。

(1) 平成14年5月1日(水) 綾歌中学校

ア 研究主題の決定

イ 研究組織の決定

昨年度までは、ネットワークの利用のしかたについて研修を進めてきた。しかし、校内LANがどの学校でも設置される状況となり、ほとんどの先生方も活用方法を理解しつつある。そこで、今年度はソフトウェアの活用方法を中心に研修及び研究を進めた。

(2) 平成14年6月4日(火) 国分寺中学校 コンピュータ教室

ア 情報交換 各校のコンピュータの活用状況や実践事例について

イ 実技研修 HTMLを使ったWebページづくり

最近さまざまな機関や組織でWebページによる情報発信が盛んになり、数年前のように、コンピュータに詳しいごく一部の人のものではなくなりつつある。Webページの制作は新しいソフトウェアのおかげでかなり容易になってきた。しかし、Webページ作りの基本であるHTMLを理解しているとさらに制作に役立つ。そこで、国分寺中学校ではコンピュータ室のサーバーに生徒がわかりやすくHTMLの役割を理解するためのソフトを組み上げているため、それを活用させていた

だきながら研修を進めた。

(3)平成14年11月1日(金) 綾南中学校 コンピュータ教室

ア 情報交換 調査書についての情報交換など

イ 実技研修 アクセスの実技研修

今年度から評価の方法が変わった。そのため、高校入試のための調査書の内容も変わったので、調査書作成のために使用してきたマイクロソフト社 Access で作られた書式を変更しなければならなかった。Access は、調査書作成において多くの学校が使用しているが、書式を自由に作ることができる先生方は、県内でもごく少数である。そこで、少しでも改訂に対応できるように実技研修を行った。研修後、すぐに新しい書式が作れるまで研修が進んだわけではないが、できあがった書式の簡単な変更に対応できるようになった。

3 反省と問題点

昨年までは、校内 LAN の設定方法やそのメンテナンスについて研究を進めてきた。現在郡内のどの中学校も校内 LAN が設定され、ほとんどの先生方が、ネットワークを活用している。各校の情報交換をしながら、学校全体での有効な利用方法についてさらに研究を進めていきたい。またネットワークの活用については、コンピュータウイルスについてまだ関心の低い先生方もおいでるようだ。学校によっては被害が報告され、油断できない状況であり、データのバックアップやウイルス対策ソフト導入は絶対に必要である。今後本研究会を通して予防の方法や対策について啓蒙を深めていきたいと考える。

また、今年度から評価方法が相対評価から絶対評価に変わり、公立高校の調査書の書式が変わった。今までは、一部の先生方のご厚意で作られた Access の書式を利用させてもらっていたが、今年は大幅な改訂に対応するため、郡情報でもアクセスの研修会を試みた。しかし、かなりの専門的な知識と時間を要するため、十分な結果はまだ得られていない。今後も本研究会で継続してこの研修を進めていきたい。

また、様式の変更について、十分時間をかけて検討していきたいが、新指導要領実施後様々な新しい取り組みで十分な時間がとれないのが現実である。そこで、県や都市単位で一括して専門家に依頼するなどの方法を検討してもよいのではないかと考える。